

平成24年度春季全国大会フォーラム講演募集

主 題：「溶接構造物の耐疲労性向上技術の最前線」

座 長：館石和雄（名古屋大学）

開催趣旨：

溶接構造物の耐久性を支配する劣化因子の一つに溶接継手の疲労がある。溶接構造物の長寿命化を実現するためには、溶接継手の耐疲労性を向上させることが重要であり、これに関して多方面で技術開発が進められている。これらの技術は、継手に生じる応力度を低下させる技術と、継手の疲労強度そのものを改善する技術に分類される。また、新設段階において適用するための技術、維持管理段階においてまだ損傷が生じていない継手に対する予防保全のための技術、軽微な疲労損傷が生じた継手に対する耐疲労性回復技術などがあり、様々なフェーズでの活用が期待されている。近年の具体例をいくつか挙げると、材料的な視点からは、低温変態溶接材料や、疲労き裂の進展速度を抑制できる鋼材、高疲労強度ボルトなどが開発されている。新たな工法としては、機械的な打撃によって残留応力を制御し、疲労強度の向上や微小き裂の進展抑止を行う技術や、新材料の活用によって疲労き裂を補修する技術などが提案されている。本フォーラムでは、これらに例示されるような耐疲労性向上技術に関する最新の研究成果を幅広く募集する。現在の技術動向を踏まえた上で、残されている課題と、今後の技術の展開を議論する場としたい。

記

予定討議内容：

1. 新設段階と維持管理段階での耐疲労性向上技術の考え方
2. 溶接継手の疲労強度向上技術の現状と今後の展開
3. 軽微な疲労損傷を受けた構造物の耐疲労性回復技術の動向と課題

日 時：2012年4月11日（水）

会 場：ATC(大阪市住之江区)

申込方法：著者名、タイトル、概要（200字程度）、所属、連絡先を明記し、FAX(03-3253-3059)にて、溶接学会事務局へお申し込みください。

申込締切日：2011年10月11日（火）

講演採否：直接申込者に連絡いたします。

講演論文原稿送付締切日：2012年2月1日（水）

注) 採択された講演者には、所定様式に従って作成した原稿を上記送付期限までに提出していただきます。提出いただいた原稿は、溶接学会全国大会講演概要集No.90に掲載します。なお、講演時間は一件約15分～30分程度を予定しています。原稿作成方法などは座長より連絡します。